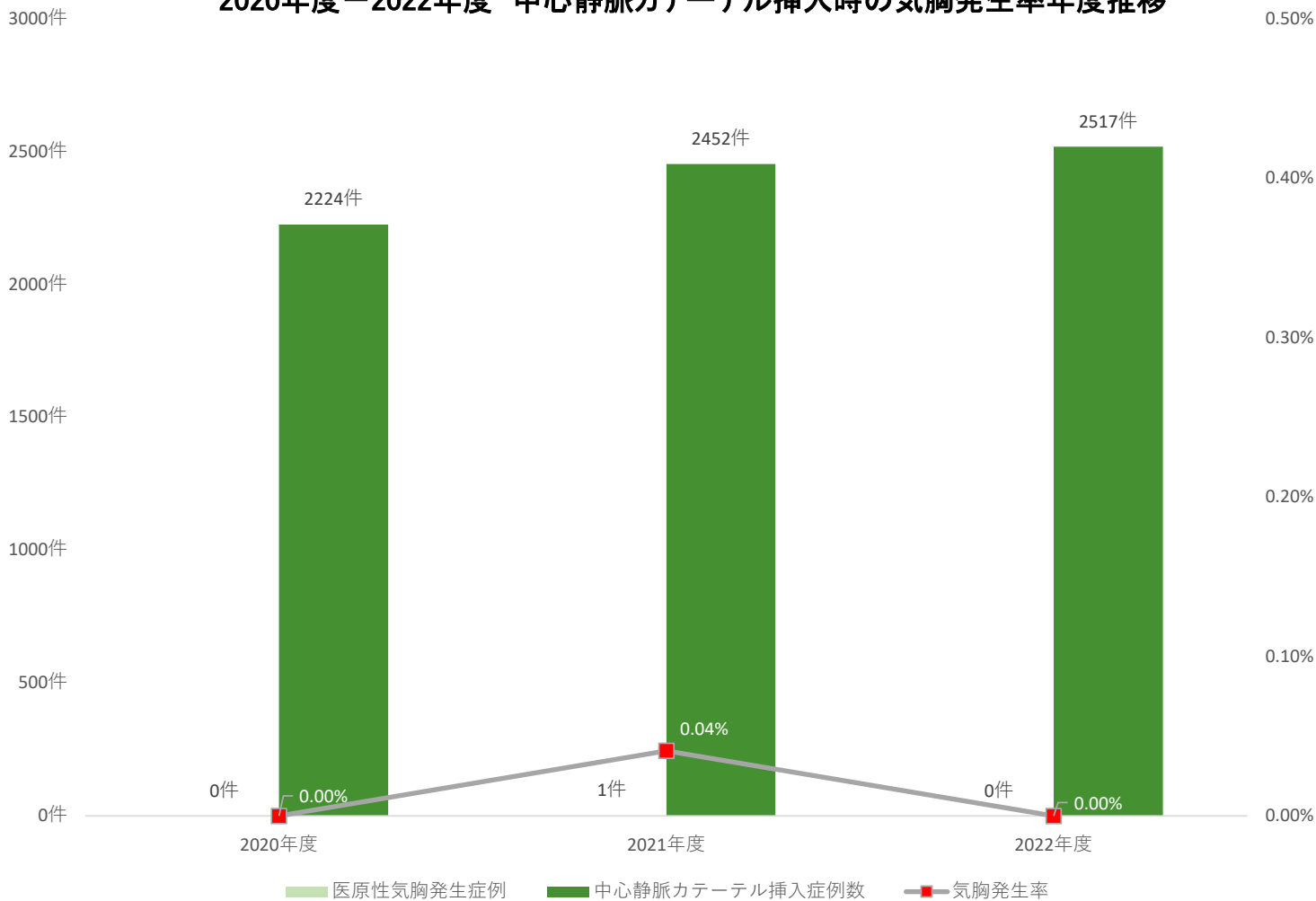


2020年度－2022年度 中心静脈カテーテル挿入時の気胸発生率年度推移



【指標の説明】

中心静脈カテーテル挿入は多くの医療現場で普及している処置ですが、不幸にも処置に伴い気胸の合併症が発生する症例も報告されています。

合併症頻度を低く保つことは、医療安全に対する取り組みの指標となります。

当院で中心静脈カテーテル挿入の処置を行う医師は、院内のカテーテル挿入指導医による講習と実技指導を受け、院内認定されない限り該当処置を行ってはならない、と院内規定に定められています。

当院の気胸合併率が低いのは、「院内・中心静脈穿刺認定医制度」の効果が非常に大きいです。

【計算の方法】

分子：医原性気胸発生症例

分母：中心静脈カテーテル挿入症例数

分子／分母 × 100